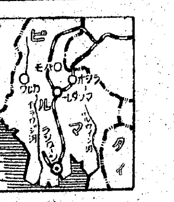
京城日報　朝刊

印緬國境カレワに達す
英主力二萬を撃滅
遺屍一千二百、鹵獲品莫大



【大本營發表】（十七日午後三時三十分）印緬國境方面に作戰中なる帝國陸軍部隊は、五月十三日カレワ附近において約二萬のイギリス軍主力を撃滅しさらに殘敵掃蕩中なり、戰果左の如し

遺棄死體　一、二〇〇

鹵獲品

一、自動車　二、〇〇〇輛
二、戰車　一一三輛
三、火砲　四二門
四、重機　七二二挺

【註】カレワはマンダレー西北約二百五十キロ、チンドウイン河西岸にあり、印度に通ずる山系の要點なり

戰果さらに擴大中

【ビルマ、チンドウイン河畔〇〇十六日同盟】敗走の英軍を急追して連日悪路と猛暑を冒してチンドウイン河に沿ひ印緬公路を猛進中の砂子田部隊は、十二日午前七時カレワ（マンダレー西北二五〇キロ）の南方十五キロのコンギイに突入、これと呼應して有信、河西の精鋭部隊も敵の背後をつきイエウ（マンダレー西北一一〇キロ）から敗退の自動貨車三千輛、戰車三百、大砲數十門からなる有力な敗殘敵機械化部隊を包圍し遥か印緬國境に聳え立つアラカン山系を背にし壯烈無比なる北部ビルマの殘敵掃蕩戰の火蓋を切つて落した、退路を斷たれた敵は血路を求めて頑強に抵抗を續けて死闘は十三日夜まで展開されたが、つひに敵は自動貨車二千輛（内使用可能一千輛）戰車百十三台（内半數使用可能）小銃七百挺、砲數十門、遺棄死體一千二百を殘して潰走、戰果はなほ擴大中である

退路を斷たれた英軍はチンドウイン河から上流に退路を求めて彷徨するも早晩殲滅されるの運命にあり、カレワより印度國境へ僅か百キロ皇軍は必要によつては何時如何なる時期に於ても印度へ進撃し得る戰形を一層固めたもので雲南方面に對する強壓と共に英印軍はもちろん印度方面に與へる軍事的強壓ははけだし想像に絶するものがあらう

北部ビルマ綜合戰果

【北部ビルマ〇〇十六日同盟】有信、砂子田、河西、篠田、佐藤、平泉の各精鋭部隊が北部ビルマ戰線で擧げた綜合戰果は次の通り

交戰兵力三三、三五〇、遺棄死體五、九三五、捕虜一、八九五、鹵獲品戰車六三輛、高射砲四七、各種火砲一四九、自動車一、二六五、自動貨機關銃一八四、各種小銃三、〇九〇、各種火砲彈一七、四一九發、小銃彈二〇七五、六〇〇發

英軍丸腰で逃亡
火砲、戰車多數を遺棄

【東京電話】ビルマを席捲した皇軍精鋭の一部はすでに雲南省境を突破海拔一千數百メートルの高地にあつて戰果を擴大しつゝあるが西部北上部隊またイラワヂ河の支流チンドウイン河に沿つて進撃し印緬國境に近きカレワ附近において去る十三日約二萬の英軍主力を撃滅目下なほ掃蕩中である、すでに印度の英軍はイラワヂ河の線を北上するわが部隊によりその退路を斷たれ印度とビルマを結ぶ連絡路としてはバトカイ、アラカン兩山脈を横斷するミイトキーナーサマグテイン、シタアンーインパール、カレワータアン、ガンカウーシカゴンの四線路を通ずるのみとなりこれら英軍はすでに滅亡の運命に牽着してゐたものである、ここに注目すべきは敵一萬に比しその遺棄死體が極めて僅少である反面火砲、戰車など鹵獲品の大なることである、このことは英軍の戰意が極度に低下武器を捨て丸腰で逃亡したことを物語つてをり、その戰意は遠く重慶軍に及ばぬにも拘らずこれが敗戰についてはその責を他に轉嫁し重慶軍の退去によるものであると悪口をなすなど退亂はその極に達してゐる、かくて去る四日アキャブを失ひベンガル灣方面からする...

捕虜既に六千
冀中戰區綜合戰果

【冀中前線〇〇十七日同盟】さる一日行動を開始した冀中剿共作戰において十五日までに判明せる分のみの綜合戰果は左の如くである

敵遺棄死體一、九三三、捕虜六三八四、鹵獲品迫撃砲七六、機一八、小銃一、二四三、手榴彈八二、一五〇、軍服七、〇九八着

東久邇宮盛厚王殿下
晴の御歸京

【福岡電話】バタアン半島、コレヒドール各攻略戰を雄しく御戰歴遊ばされた東久邇宮盛厚王殿下には十六日空路福岡御着、翠香園旅館に御一泊、十七日午後一時十七分雁ノ巣飛行場御出發、同日午後八時卅分下關驛御着御歸京あらせられた

獨軍ケルチを確保
ハリコフ地區でも赤軍を撃退

東部戰線

【ベルリン十六日同盟】獨軍司令部十六日發表

一、昨十五日獨軍はソ聯軍を撃退その一部を主力部隊より殲滅し殲滅した

一、ムルマンスク戰線において獨軍は有力なるソ聯軍部隊の數度にわたる攻撃を撃退敵の包圍作戰企圖を挫折せしめた、四月二十六日より五月十三日に至るまでにソ聯軍は俘虜多數のほか戰死者八千武器多數を失つてをりこの莫大な損失によりソ聯軍は攻撃を斷念し戰地に後退した

一、ハリコフ地區のソ聯軍はなほも攻撃をつゞけたが、獨軍は激戰ののちこれを撃退さらに反撃に成功した、今日までにソ聯軍は戰車百八十台を失つてゐる

一、ラプランド地區では獨空軍は森林地帶において激戰ののちソ聯軍を撃滅しケルチに突入同市および港を確保した

地中海

一、コラ灣において獨空軍は八千トン級敵輸送船一隻を撃沈ほかに商船一隻を撃破し航行不能に陷らしめた

一、地中海において獨潜水艦は英驅逐艦一隻を撃沈

英獨戰況

一、マルタ島飛行場に對する攻撃は今なほ續行中である

一、オランダ海岸沖に於て獨沿岸哨戒艇は英魚雷艇五隻を撃破した

一、英佛海峽およびオランダ海岸沖において獨戰闘機は英爆撃機一機、戰闘機一機を撃墜

北氷洋海戰詳報

【ベルリン十五日同盟】獨軍司令部は獨空軍が北氷洋上で米ペンサコラ級巡洋艦および驅逐艦一隻を撃沈した旨十五日發表したが、かかる有力な米艦を獨空軍が撃沈したのは今次對米宣戰以來はじめてのことなので獨國民および歐洲各方面に非常な反響を捲き起してゐる、獨軍筋のその後の情報によれば右北氷洋海戰の經過は大體つぎの通りである

ペンサコラ級巡洋艦および四隻の驅逐艦よりなる米艦隊はスピッツベルゲンから北氷洋を西に向つて航行中であつたが、獨空軍の長距離偵察機は十四日朝これを發見、急遽基地へ通報し直ちに爆撃機隊の出動となつた早くも氣づいた米艦隊は進路を變更して遁走を企てたため獨爆撃機隊は容易に敵を發見出來なかつたが、同日午後七時に至つて漸く敵の位置を突止めて高速度爆撃をもつて爆撃を開始した、米艦隊は獨空軍の空襲を受けるや直ちにジグザクに進路をとり全艦隊の高射砲門を開いて猛烈な反撃を試みたが、ペンサコラ級巡洋艦は忽ち數發の命中彈を受けて大爆發を起した、驅逐艦は旗艦の掩護に當り辛うじて現場から逃亡したが夜半に至り全艦隊は航行を停止するのやむなきに至つた、ついで獨空軍は十五日早朝再び追撃に向つたが、ペンサコラ級はノースケープ北方三百キロの水域で遂に沈沒、驅逐艦一隻も損傷を受けて同じく沈沒、殘餘の艦艇は沈沒艦の乘組員を收容して西方へ逃走したことが確認された

敵潛艦六十五隻を撃沈
伊、開戰以來の戰果

【ローマ十五日同盟】獨伊の春季攻勢の活潑化に伴ひ地中海方面におけるイタリー海軍の活躍も愈々旺んになつてゐるが、十五日イタリー軍司令部は開戰以來イタリー海軍が地中海で敵潛水艦に與へた損害を左の如く發表した

一、伊海軍が開戰以來地中海において撃沈した敵潛水艦は驅逐六十五隻にのぼつた

一、一九四〇年十一月以降一九四二年四月に至る約一年間伊海軍は地中海方面において一千四百二十四機の英國機を撃墜

米船又も沈沒

【ビシー十六日同盟】アベス通信ワシントン電によれば、アメリカ海軍省はアメリカ艦艇ノールウエー船...

建國功勞者謝靈祭

【新京特電】建國十周年記念行事の最後を飾る建國功勞者慰靈祭は...

ラ佛首相パリ訪問

【リスボン十六日同盟】ビシー來電によれば、ラヴァル佛首相は十五日パリを訪問、...

在住邦人立退命令

【リスボン十六日同盟】ワシントン來電によれば、米政府當局...

皇軍堂々ヘマビューに入城

ビルマラシオ戰線　陸軍省檢閲濟＝電送

“暗黑の谷”に喘ぐ
チャーチル、演説で告白

【リスボン十六日同盟】ロンドン來電によればチャーチル英首相は十六日リーズ市を訪問、同市公會堂のバルコニーから民衆の歡呼に應へながら聯合國側の敗戰を糊塗して大要つぎの如く演説した

またわれわれは戰爭の山を登りつめたといふまでに至つてはゐないが聯合國は必ず勝利の山頂を極めるであらう、その時こそ敵國を徹底的にたゝきつけ前途に光明を見出すことが出來るのである、諸君は共同の戰爭目的のために働きつゝある聯合國側諸國民が擔つてゐる重責の一部を負擔してゐるのである、もし勞者が擔れてさうすればわれわれはまだ窮境をもつてこれに報いる、われわれは如何なるものを與へられようと甘んじて受けるが、ただそれをさらに倍くして返上するであらう、われわれはあくまで戰ひつゞけるのである、われわれの不撓不屈の努力こそわれわれを暗黑の谷から光明中に救ひ出すのである

反樞軸聯合國空軍會議

【リスボン十五日同盟】オッタワ發ロイター電＝反樞軸聯合國は來る十九日オッタワにおいて空軍會議を開催、空軍の共同作戰につき協議することゝなつた、同會議議長はカナダ空相パワーと決定、反樞軸十六ケ國の代表が出席する豫定である

チャーチル反對派議員
新黨を結成

【ブエノスアイレス十五日同盟】ロンドン來電によれば、英議會議員は今回人民黨と稱する新黨を結成、十五日この旨發表された、右新黨の綱領は英國政府における低能率の改善にあると稱してゐるが之れより判斷すれば主として英チャーチル政策に對する反對派の策源とならんとするものと見られてゐる、なほ同黨の領袖は無所屬下院議員ブラウンと國民勞働黨のエドガー・グランビルである

對戰車砲以外の新兵器

【ストツクホルム十五日同盟】ケルチ半島の大攻勢に際し獨軍當局が新兵器の使用を發表して以來各國軍事專門家の間では右新兵器の性能につき種々の臆測が行はれてゐるが、十五日獨軍當局の發表により右は強力な特種對戰車砲であることが判明した、しかし獨軍は右新兵器のほかにも幾多の新兵器を用意してゐる模樣で、例へば十五日のスエーデン紙スブエンスカターゲブラデツトは『獨軍側に立つて東部戰線で戰つたスエーデン義勇兵の印象記』として獨軍の使用せる新兵器に關し次のやうに報じてゐる

余（スエーデン義勇兵）が目撃した獨軍新兵器は、一度東部戰線で使用濟みのものでソ聯は右兵器に大恐慌を來した、すなはち昨年九月初旬獨軍がドニエプル河の渡河點に攻撃を加へる直前部隊はいはゆる『ネーベル・レギメント・ウンム聯隊』と稱する新兵器部隊によつて掩護を受ける旨の通知に接した、この新兵器は『恐靈』とでもいひ得る一種の放射彈で特種の罐詰を有する加農砲によつて發射される、また砲彈には壓搾空氣が充塡されてあつてさらに空氣の壓力を增大せしめる物質が詰入されてをり砲彈が空中を飛ぶ時にその效果を發揮するやうになつてゐる、余が目撃したところでは右兵器の性能は恐るべきであつた、戰場は累々たる赤軍兵屍で埋められどれを調べて見ても外傷は一箇所もない、右は猛烈な爆風により肺が破裂したため死と見られた、當時のこの新兵器は試驗的に使用されたものだが前線よりの報道で見るとそのゝち種々の改良が加へられて完成の域に達した模樣である

獨、ソ聯船舶十數隻撃沈

【ベルリン十四日同盟】デー・エヌ・ベー通信によれば獨空軍はさる十二日ケルチ海峽航行中のソ聯艦船に攻撃を加へ商船五隻、曳船一隻、漁船一隻合計五千三百トンを撃沈、商船一隻及び海船航行艇損害一萬六千四百トンに大損害を與へた

米東部沿岸悔々
全域を軍管地區に指定

【リスボン十六日同盟】ロイター通信ニューヨーク電によれば、米東部防衛司令官ヒュー・ドラム大將は十六日、米東部海岸全部を軍事管理地區に指定、燈火管制を含む軍管區の第一帽を右地區に適用する旨發表した

米遣印特使歸米

【リスボン十六日同盟】ニューデリー來電によれば過般の英印交渉に臨んだアメリカ大統領ルーズベルトの遣印特使ルイス・ジョンソンは十六日ニューデリーを發して歸米の途に就いたが出發に先立ち記者團との會見で左の如く語つた

余の歸國はルーズベルト大統領と種々事務上の打合せを行ふためで近く印度に歸る豫定である

院内運營刷新
翼政創立と共に活潑化

【東京電話】翼賛政治會は翼賛議會の確立をめざす廿日の創立總會においていよいよ決定を見ることとなり、從つて廿五日召集される第八十臨時議會は當然翼賛の指導理念に基づき、これが院内機關によつて運營される譯で僅か會期二日間ではあるが、議事進行、議案の審議、院内交渉事項の審議などに一大刷新と活潑が加へられるものと期待される、しかして衆議院事務局では議會準備のため翼政院内機關の急速なる整備を期待してをり、翼政でも廿日の創立總會で指名される實行機關にはかり廿一日頃には決定する、院内機關が決定すればこの機に正副議長、書記官長など議事機關を組織し、議事日程およびその他の事項を決定し、これをさらに翼政の實行會にはかつて承認を求めた上、議事の圓滑なる運營を期する事となつた

大物主義濃厚
正副議長選擧

【東京電話】翼賛議會の確立に當つて重要視されてゐる衆議院正副議長の人的配置は廿日の總會に當つて、改選された議員が貴族院その他の人選に應ずるべき如何に按配されるかが新議會の運營に影響すること多大なものがあり、翼政側では大物主義で前田米藏氏を議長に推すべしとの空氣もあり、副議長には岡田忠彦氏を適任とする意見も有力であり、副議長には内ケ崎作三郎氏と新議員起用の聲もあるが、いづれも過去の政黨的色彩にとらはれた人選を排撃し眞の翼賛議會に相應しい人材を公平に選擧すべしとする空氣が濃厚である

喜望峯迂回か
英、地中海の頽勢

【ベルリン十六日同盟】英國は西阿方面の戰爭を『兵站戰爭』と名づけてこの方面が物資補給のため果す役割を重視してゐるが、最近ではこの地方自體が物資不足を感じ英軍當局の頭痛の種となつてゐる、すなはち英ソ兩軍のイラン、イラク、シリヤ侵入は同地方の耕地をすつかり荒してしまつたほか、牛、豚などの家畜の大半を殺してしまひ、さらに地中海方面における獨伊軍の活躍により地中海から西阿に入る航路が閉ざされてしまつたため英國としては喜望峯迂回の航路をとらなければならなくなつてしまつた、英國はまた西阿方面駐屯軍を養ふため各重要都市に食糧貯藏を命じてゐるが、しかしこの地方が獨伊兩軍の進出によりますます危險を加へて來てゐることは事實でフイナンシャルタイムス紙の報道によると米國からアデン、紅海、スエズ、ポートサイド向けの船舶に對する戰時保險料は最近また三割方增額されたといはれる

敗戰に喘ぐ濠洲
珊瑚海々戰に箝口令

【ブエノスアイレス十五日同盟】珊瑚海の敗戰を糊塗しながら國民の非難から逃れ去らんとする濠洲側の企圖は益々收拾のつかぬまでに混亂し十五日のエーピー通信は實戰に參加し最近濠洲に到着した聯合國側將兵の模樣を次の如く報じてゐる

珊瑚海々戰の負傷者の第一陣が濠洲の基地に初めて到着したが、歸還男士の出迎へは醫療關係者以外一般には許されず、實戰に參加した水兵達には嚴重な箝口令が施され負傷者到着の光景は實に痛痛しいものであつた

米陸軍、強力な憲兵隊創設

【リスボン十六日同盟】アベス通信ワシントン電によれば、米陸軍省は強力な裝備を有する機動憲兵隊五十七個大隊を編成した旨十六日發表した、各大隊は六百五十名よりなり樞軸側第五部隊の策動、暴動その他洪水、火災などの災害に備へるためであるといはれる

大東亞戰爭完遂へ　貯蓄の保險　相互組織　千代田生命

マルチニツク問題
米の無謀、佛政府抗議

【ビシー十六日同盟】ラヴァル首相は、十六日記者團に對し去る五月九日米政府がフーバー提督を通じマルチニツク島總督ロベール提督に手交した佛領西印度諸島の處理に關する對佛要求に對し同月十三日佛政府が米政府に手交した回答文の内容を發表した、その要旨は休戰協定に違反しかつ佛國が三百年以上領有して來た佛領西印度諸島の主權を佛政府から剝奪せんとする無謀極まる米政府の要求に對し抗議すると同時に、佛政府は今後ともマルチニツク島總督ロベール提督をして米國側と折衝せしめもつて急激なる米佛國交斷絶を將來せぬやう萬全の處置をとらんとする意圖を明かにしたものである、しかしてラベール首相は對米回答文の内容發表後記者團に對し特に左の三點をあげ佛國政府の西印度諸島に關する態度を明かにした

一、佛國は如何なる事態に遭遇しようとも佛領西印度諸島に對する主權を放棄せぬこと

二、目下西印度諸島に繫留中の佛國軍艦および商船は米國を含む如何なる諸外國に對しても斷じて讓渡されぬこと

三、ロベール提督は佛政府の指令により一切の交渉を進めてゐる故佛政府の承認せざる限りロベール提督自身の裁量によつて如何なる決斷も下し得ざること

丁國元商相英國へ逃亡

【リスボン十六日同盟】デンマーク元商相クリスマス・メレルが數日前家族を伴ひ祕かに本國を脫出英國に逃亡した事實がはしなくも同人が十四日、ビーピーシーを通じて本國民に呼びかけたことにより明かとなつた、なほ、デンマーク政府當局は過般來同人の行方を探索中であつたものである

社告

本社南方特派員編輯局經濟部次長近藤一馬儀南方々面ニテ戰況報道中病ヲ得テ臺北ニ歸還臺北病院ニ入院加療中ノ處十七日午前八時二十分死去仕候間此段辱知諸彥ニ謹告候也

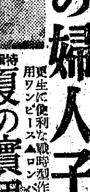
追ツテ葬儀ハ遺骨ノ歸還ヲ俟チ相營可申候

昭和十七年五月十八日

京城日報社

榮養補給に　強力ビタミン　メガネ肝油球　適應症　肺結核・肋膜炎・腺病・結核性諸疾患・ビタミン缺乏による眼疾・夜盲症・發育不良・病後・妊娠授乳等・營養補給　工場で服んで缺勤防止　會社で服んで業務向上　學校で服んで榮養補給　徳用　3000粒入　50入1ケ月分　大阪道修町　伊藤千太郎商會

實業之日本　五月十五日號　四十錢（送料二錢）　東京銀座　實業之日本社　振替東京三二六番
南方經濟開發の核心……南大教授　金子鷹之助
日本的世界觀の把握……野村重臣
歐洲戰局の新展開……同盟通信　岡村二一
大東亞戰を現地に觀る……大本營陸軍報道部　富永少佐　東日社會部　平栗竹男　朝日寫眞部　影山正雄
我等はどう生活するか（に訊く）……高田保馬博士
捨身への悟入……立花俊道
生成發展の道……伊東延吉
小賣商整備の重點……北海三郎
戰時金融と株式市場の今後……松本信次
南方進出株の檢討……平野猛
全產聯解消す……大館良之助
大東亞文化圈と音樂……田邊尚雄
社會學博士　ヤラア……小倉清太郎
隨筆　天龍川……川田順
スマトラとジャワ……横山義太郎
セイロン島……前橋二正
パプア島踏破記……林學博士　金平亮三
南方大作戰の主腦者たち……日向洋之助
大東亞戰と漢字……下村宏

主婦之友　六月號

特輯　夏の婦人子供服
特輯　夏の實用編物集
▲戰時の安産育兒心得　▲胃腸病療法　築田多吉　▲隣組主婦の防空實戰
▲內職の增收實驗卅種　▲夏の健康料理作方集　▲美味しいお菓子作方
絕讚！海軍病院記　岡田禎子
支那・蘭印の難民の母の座談會
賣切れ迫る

懸賞募集　日本の母の歌　歌詞
感激をこの一篇にこめて奮つて御應募願ひます。
やさしい母、強い母、尊い母。軍神を生んだのも、皇軍勇士を育てたのも、大東亞の盟主日本を强くするのも母の力です。この母を讃へ、汎く婦人の母性精神を喚び起し、將來の發展を誓ふ『日本の母の歌』をお寄せください。
歌詞審査員　菊池寛　北原白秋　西條八十　伊藤雅子（?）　茅野蕭々　小野賢一郎　倉野憲司　時雨　信時潔（順不同外に各省當局より各係官が參加）
表彰　一等一名　賞狀並に文化事業報國會賞　副賞一千圓（國債）　二等一名　賞狀　副賞三百圓（國債）　佳作十名　賞狀　副賞二十圓（國債）
★締切……六月三十日
應募規定
▲內容　强くてしかも優しい日本母性の讃頌を爲へ、學校でも職場でも家庭でも老幼男女の唱和に適するやう努めて平易なこと。
▲形式　自由なるも、なるべく七五または八六調とし、一節四句より成るものを三節または四節を基準といたします。
▲資格　男女年齡を問ひません。
▲用紙　半紙または同大の紙。
▲住所氏名　原稿と封筒の稿方に明記
▲注意　入選作の歌詞は審査員が適宜改變することあり。入選作の一切の權利は主催者に讓屬す。應募原稿は一切返却せず。歌曲募集は『主婦之友』九月號
▲締切　昭和十七年六月末日
▲發表　『主婦之友』九月號
▲宛名　東京市神田區駿河臺　主婦之友社編輯局內『日本の母の歌』係
後援　情報局　陸軍省　海軍省　文部省　厚生省　大政翼賛會　大日本婦人會　日本放送協會
主催　財團法人文化事業報國會　主婦之友社

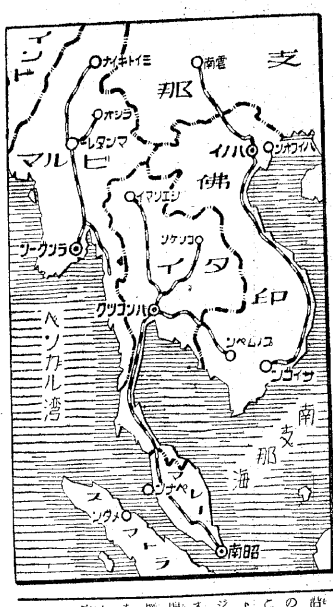
特輯 逞しき南方の建設譜

村岡特派員發 ○○基地にて

眞のアジヤに還れ
共榮圏に脈搏つ雄叫び

村岡特派員

暴戻なる米英の敵勢を壓滅してアジヤに新しき歴史が起草されてから早くも半歳、渦巻く硝煙の收まつた跡、こゝ南方印度支那大陸には季節の變化も知らぬげに、いま、眞紅のカンナが咲き佛桑花の葩がこぼれる、咲く花、灼ける太陽、氣象の輪廻は過ぐる日に變らぬが、現實の世界は大きな變轉を經驗し急速調の變貌を續けてゐる、東部アジヤのバルカンと呼ばれたこの印度支那大陸の白人侵略線は死の十字を結び、眞のアジヤに回歸する逞しき姿の變貌である、いま大陸各地に脈搏つ鼓動を聽診してその表情を拾つてゆく……



マレーの巻

生れ變つた昭南市
〝チャーチル給與〟の大船渠に 造船工業すでに開始

飼ひ殺しうちの巨砲に睥睨く鎖められた大地、その突兀の獰みに早や名も知らぬ草が芽生え花が咲く、壞れた街、ゴム園は修築され、手入れされて戰禍の跡は日一日と薄れゆき、燦然な活動を取戻したマレー半島である、去る一日から昭南島に大戰後初の

旅客列車が 仕立てられマレー縱貫北行列車が快適な轟音とゝもに運轉を開始した、足留めの形になつてゐたマレー人、支那人、印度人かどつと流れて續々と來往する姿、これはマレーに新しき秩序が整つて來た大きな表現の一つだ

西はベンガル灣から印度洋を制壓し、南はジャバ、スマトラの敵を定なつていま南方圏の中樞的位置にある昭南島は、戰前英が西歐を誇つてABCD陣營のもとにこの地を東亞侵略の策謀據點として堅壘を固めた日の姿とは打つて變つて明色に溢れ、鮮々たる活氣にみち、大きくアジヤの息吹きに新生の姿勢を見せてゐる、わが皇軍の勇敢が聖なる血を以て米英に汚辱されたアジヤを淨化してくれたことに酬へかたい感謝の念を擧げ、たゞ一途われに信倚して新しきアジヤ

建設のため に挺身すると誓ひあつてゐるマレー人、支那人、印度人たちである、十六年計畫一五〇〇萬ポンドの巨額を投じて築城された英の昭南島諸施設はそつくりそのまゝわが方の手に移され、まつ、南方資源搬送の先鋒を承る船腹增强のため、既にチャーチル給與の大船渠では三萬噸級の手で世界に誇る造船工業が興されてゐる、こんな景氣のいゝ話は隨所にある、世界錫總産額の三分の一を誇る

ゴム林一百萬エーカーも既に手入れが始められ、進駐の兵隊さんが樹下にまどろむ夢にさへゴム園、ゴム鉛と讃へられたゴムの樹はいま赤い芽をふいてゐる、戰前年産卅七萬六千餘トンだつたがこゝ暫くは生産調整が行はれるであらう、六萬一千トン世界一の産額を誇つた錫鑛パトパハ、イポーなどの開發は進み既に重要鑛物は不足なき輸送を見てゐる、マラッカ州邊に無盡藏といはれるボーキサイトは

露天掘りが 行はれてゐる、埋藏量二億トンと推定されるバヤル鑛山も既に出鑛してゐる、一方一つの悩みと見られた二百卅萬の華僑は、その初期において英國繁榮のために奉仕させられた根無し草で苛酷な英國の人身賣買の手段に仇敵の情を燃やし、總ての英の搾取の媒介者となつてゐた非を改め細密な商業網を活用して大東亞共榮圏建設の尊い使命を果すことを誓つてゐる

昭南市街は印度兵捕虜二千の手で連日清掃されて美しい街に化粧された、鳳凰樹の花咲くこの街に昨日恨みをのんで引揚げた邦人がやがて復歸してゆくであらう、嘗つての思出が甦るこの街を汚すことなく東亞諸民族の先達となつて逞しき日本の根を下してほしいと願ふのである

ビルマの巻

埠頭も一氣に復興
蘭貢市治安維持會、活潑な活動

英國の寶庫〝印度〟防衞のための犠牲となり絶えざる苦けを嘗めさせられて來たビルマの受けたそれは、印度が蹂躙しつゝある英の苛斂誅求よりも更に加重なものがあつた、神を畏れざる英の悪業はその終焉までも續けられ、首都ラングーン、北方の要衝マンダレーを灰燼に歸せんと企圖した

焦土戰術に 限りなき憤りを覺えさせるのである、この鬼畜にも似た英を撃滅するとともに重慶への援蔣路を斷ち、マンダレーの占據とゝもにビルマ北西邊の鐵道か固められ、こゝに全ビルマ新生の用意がなされる譯である

英の非道な焦土作戰のためラングーンはかなり手酷い戰禍を蒙つたが、氣性の勝れた新興民族ビルマ人はわが皇軍の指導のもと協力して一氣に復興、ラングーン河に沿つた一列の二千餘の埠頭も整備の姿から次々に修復されてゆく、この埠頭のうちブローキング・ストリートとパールスストリート、ジエッティの二つが嘗て米英からする援蔣物資の揚陸に使用された埠頭だつたが、彼ら自らの手で破壊し敗走しなければならぬ運命さをとどめた、かうした破壊の數々か急速調に復興されてゆくうちに愉快なものの一つは

五萬馬力を 有するアングロ・ビルマ・カンパニー精米所がまづ高らかに作業を開始した、一日六十袋（一袋は百キロ入り）の精米にビルマ人、印度人五百人の從業員が鬱々と作業にいそしみ、皇軍勇士に、そして日本内地の人達に美味しいスーパー米を供しようと精出してゐる

市街の復興とともにラングーン市治安維持會がウー・ティン委員長以下十五名のビルマ人幹部をもつて結成され、宣傳、財務、土木、學務、布教、教育、勞働、衞生、市場、保險、健康保險、政治法律顧問など各部門別に活潑な活動を開始した、嘗て英がビルマ經營の根本方針としたビルマ人の經濟能力を奪ひ、搾取と暴政によつて無氣力化を圖つた昔日の貌は既になく、皇軍の指導のもとに唱々として作業に勵んでゐる、重要資源たる石油、チーク材、米等は何れも

自己の獨占 下におき、ひたすら農業屈傭勞働者に轉落させ容赦なく人頭稅その他の重稅を課して手枷、足枷の負擔者として身體をしばりつけた英人に對する恨みはいま火となつて燃えさかり、それに引かへ溫かい皇軍の撫育の前に過去の疲勞と困憊から蘇生し力強く大東亞共榮圏建設に殉ずることを誓つて喜ぶビルマ人たちである

驕れる英、白人たちが土着民の搾取によつて放縱と榮華を極めた遊興の地ビクトリヤ湖、ローヤル湖畔はいま健康をとり戻してビルマ青年たちの健全なボートレースなど見ることが出來る、起ちあがつたビルマは若い張切つた表情をもつてゐる

泰國の巻

經濟事情修正
英の野望も忽ち霧消

泰が米、英の陰險な勢力を敢然蹴つて長い過去の桎梏から脫皮したのは大東亞戰爭が契機であり、戰略から一路東亞建設へ發進したのだ、半歲にみたぬ泰國の逞しきアジヤへの回歸の變貌は目覺しいものがある、バンコックには日泰軍事同盟による共同作戰本部が設けられ、泰國軍また北部の緬甸方面に出動して戰果を收め、わが軍の進撃に到する

泰國鐵道省 の不眠不休の協力、ラーヘンからメソードを經てビルマ領パーン、モールメインに通ずるビルマルートの建設など相扶けて東亞新秩序樹立のため血の努力をつゞけてゐる

かうした共榮圏建設への努力が拂はれる一方、過去の國内事情からなほ英米勢力に蹂躙されてゐた泰國が戰爭のため錯綜した現實面に觸れてまづ經濟事情の修正が第一に指摘されて來た、戰前泰國の年々の輸出米は總額五千萬バーツをあげた、しかしこの巨額の利得は華僑と英國商社のために完全に吸ひ取られ、この悩みを解消するため幾度か外人の進出を拒否したが、特に華僑の根強い商業資本の活動は阻むことが出來ず、夥しい出超にも拘らずその

貿易帳尻は 結局資金流出に相殺され續けた、ところが、大東亞戰爭とゝもに泰國華僑の性格は一變して彼等もまた東亞建設の尊い一翼を擔ふとともに、泰國の方途に順應せざるを得なくなつたことはいふまでもなく、泰國もまた販路の需要を東亞圏、特に日本に仰がねばならなくなり、こゝに經濟協定の新段階に辿りつかねばならなくなつた

過般來朝中の軍事同盟締結慶祝使節ピヤ・パホン中將一行に先行して無任相ワニット氏を首班とする經濟委員の來朝によつて去る四月廿一日圓とバーツがパーとなつたのも新しき泰の表情の一つである、次いで廣汎な經濟提携がなされることは豫想されるところである

かうした基幹の問題が取りきめられる一方では泰國人もそして華僑商人も

日本商品を 渇望してゐる、先ごろ日本貿易協會支部が開設されて、日本商品の統制ある輸出が行はれることゝなつた、また泰國が焦眉の急として國内產業の米の單作性の修正として國内資本によるチーク、錫など工業の發展と產業の多角化を目指して獨立の努力を拂ふとゝもに國力の培養に必死となつてゐるこれは過去米英の泰を植民地化せんとした野望が一氣に霧消した泰の血の努力の表現の一つである

泰王室佛寺の調度に 嬉し日本文の解說
宏莊雄麗！ワツト・プラ・ケオ

苛酷な米英の重壓を蹴つてわれと握手、盟邦つて大東亞共榮圏建設の尊い一翼を擔つて、泰はあげて日本との親善に惓みなき努力を拂つて

あるが、これは王室佛寺における皇軍の武運長久を祈願する敬虔な佛事――泰が母の乳房と呼ぶメナム河の畔に黄金燦爛の尖塔燦然と映える

チャクリー王朝の王城はまさに豪壯華麗にして儼然たる陸の龍宮城殿にも似て眼を奪ふ、記者は一日許されてこの王城を拜觀した、王城の出入は嚴格を極め案内のため軍裝の親衞隊員が先達となつた、嚴しい戰爭の規に從つてこゝの美しい王宮はいまは殺傷ともない衞の結構嚴が構築されてゐる、まことに佛教の國である、王城の建造物のことごとくが佛教美術の粹を鍾めた寺院と伽藍に盛られてゐる、宏莊雄麗な建築は金銀寶石を鏤めて贅を極めてゐる、タイ國佛教一千年の歷史をこゝに移して築造された由緒の伽藍、パゴダの數々である、この王城の一廓に燦然たる大伽藍の王寶佛寺ワツト・プラ・ケオがある、

大理石の廻廊のきざはしを踏んで堂に入る、中央奧深く高く佛壇がしつらへられ、エメラルドの大寶を嵌いた丈餘の黄金の坐佛が中央に安置され四周にまで無數の佛像が黄金の蓮臺、金銀各種の寶玉で造られた佛具にとりかこまれて鎮座こもる堂宇である、巨大な經机には萬卷の經本が備へられてあり更に前方には朝夕禮拜の大王寶佛の台座が金色で縁取つてある、更にその前方には聖水をたゝへた聖台があつて高僧の指が待つてゐる、うやうやしく參詣拜禮する者にリンデンの柳枝をもつて聖水を撒く、見ると聖台に日本文字で解說が附してある

寺奉行（チョクンラクナピムパーピペン）と書き起しその昔からこの聖水を浴びて戰ひの陣に立つた者は傷つくことなく必ず戰ひに勝て凱旋するものである、皇軍勇士もまたこの聖水によつて勝利の武運を得てるであらう

と言つた意味のこと が細々と書き連ねてある、こゝワツト・プラ・ケオのこの佛前は大東亞戰勃發直後日泰軍事同盟調印の歷史の間であり、いままた拜佛禮拜するわが皇軍勇士の武運長久を祈つて昔の佛事にならひ聖水の祈禱が王城の奧深く行はれてゐるとのことである、限りなき感銘のこと、いやアジヤ人の手に育てねばならぬ大理想に誓ひ立つ一つの表現として深く感銘にひたつたのである、宇を闡明するタイ佛教興隆の跡を物語る大壁畫の中にちよん髷の日本武士が描かれてゐる、五百年の昔アユチヤ王朝に禁衞軍司令官として八紘一宇の皇道を宣布することを忘れなかつた山田長政のことども描かれてゐるのではないかと質したが要を得なかつた【寫眞=泰王室佛寺ワツト・プラ・ケオ】

× × × × × ×

佛印の巻

官營で日本語講習會
〝西貢銀座〟に十指に餘る日本商社

大東亞圏内で戰火をまぬがれた唯一の領域は佛領印度支那だつたが戰火をまぬがれただけに經濟的東亞建設への協力を惜んではならぬことを知つてゐる佛印である、もつと嚴密すれば、フランス本國の權威なくしても佛領印度支那の獨力の自衞は困難である、孤立する植民地の繁榮をよく知つてゐた筈である、だから一度は

援蔣工作に よる米英への依存、或ひはマレーの前衞としてその防衞を英に委ねもしたが、結局は東亞における眞實の前に目覺めざるを得なくなり、われに提携してはじめて安固な今日の位置を辿つたのだつた

嘗て本國に歸る航路を忘れた巨大な貨客船數隻がサイゴン河に赤錆びた船腹を曝け出してゐた、そのサイゴンにド・ゴール派の暗躍あり、ユダヤ財閥と折日華僑が結託され妄動畫策したが、押しせまる本國との輸入杜絕による佛印住民の生活の脅威の前にはもはや日本を信倚依存するの外なき現實に直面した彼等であつた、それだけに大東亞戰後における佛印の性格は大きな變貌の跡をみせてゐる

佛印南方の基地サイゴンはあの日の面影はあとかたもなく、日佛印親善の一路を辿つてゐる、目下具に經濟協定が進められてゐる、街には

日本商品が 次々と姿を見せて人氣を呼んでゐる、煙を吐かなかつたサイゴン河埠頭のフランス船は赤錆びた船腹を綺麗に塗りかへて就役、東洋の小パリといはれるサイゴンの銀座通りリュー・カチナツには十指に餘る日本商社が日の丸を掲げた、行き交ふフランス人の眼にらぬ日本人の往來ぶりである、更に文化提携の面にも飛躍的な結ばれが試みられてゐる、日本語が正科として課せられたことは何よりも佛印が大東亞圏に一翼を擔つてゆく責務を感得した一つの表現と見られるであらう

先ごろ一般のサイゴン市民の日本語講習會員が官報で募集されると忽ち百九十五名の應募者があつた、そのうちには官吏が八十五名軍人が七十五名ありその他教師、醫師、婦人があつた、日本語の進出と併行して

日系病院と して臺北の博愛會病院、安南文化研究所、放送局等の進出計畫が進められてゐる

南方華僑の中樞ショロンはサイゴンに隣つた繁然たる華僑の街だが、いまは燦然と汪新政權のもとに掌握され、日の丸とフランス三色旗に和平建國の國旗三旗を掲げ國防獻金などにより東亞建設への協性を誓つてゐる

南の國を訪れて
雄々し大和撫子の手記

血腥い硝煙がをさまるとその跡には逞ましい〝日本の性格〟が根を下ろし各部門の建設工作が快速調に進められてゆく南方戰線である、その蔭には敏感で可憐な「あすの日本の母」わが女性群が繼々しく職場を守つてゐるのを見る、彼女たちは日本婦德の實布に驕らざる自覺を秘めた武器なき戰士である、これは戰火こそまぬがれたが、わが南方共榮圏の一基地サイゴンのルユーコルナルの白木屋（軍酒保）の朝見妙子さん（二二）=假名=の手記に拾ふ〝南の國を訪れて〟の感想――

私が東京を發ち千里の航路を乘り越えて南國の都サイゴンに上陸したのは一月はじめでした、小パリといはれる美しい此の街、行き交ふフランス人、佛蘭西な衣裳の安南婦人――總てが珍らしかつたけれど、なぜか伸びしさに心がせまつて出發の時の固い決心がともすればゆれかゝつた、強い職務な職場に郷愁に似た感傷がうづいてゐたゝめでせう、幾度の固い決心も強い職務な心を取戻し、あ

決して女々しい感傷に溺れないと誓つた、四十人近い安南女店員の中に立つて、私達六人の日本女性は、總てが指導的地位にあることを忘れてはならない、殊に數少い日本女性の私達はフランス人安南人たち女性の常に敬意の焦點になつてゐるとも言へるでせう、所作ごとに日本女性としての誇をすることなく執着を秘めてこれらの女性に臨まねばならぬと誓つた

店の安南人女店員たちはみんなフランス語が話せる、店の方針からで店のフランス語の出來る人がこれらの女店員を集めて最初日本語を教へ始めたとき彼女たちは嫌つて商品の名稱、計算など日本語がいさゝかも不便を感じない程度に上達し日本語で用が足せるやうになつた、かうした努力のためか、私はフランス語も安南語もほとんど勉強しかまた

少しは會話に自信のあつた安南語は、こゝでは全然役立たない、店の安南少女たちはみんな從順で少しもわだかまりのない感情をもつて私達に同化してくれるのは嬉しい、生活習慣、觀念などが異るためか、日本流の禮儀作法、そして私の氣に對する態度の所作は誠には理解出來ないらしい、一見そんざいで禮儀がないけれど決してつつけんどんで禮儀がないのではないことがよく分る、だがもつて纖細な感情を擽かしたならと懸念をもつ

……◇……

感觸的にではないかも知れないが、安南婦人は傳統を守りつゞけてゐるのではないかしら、フランス人との混血兒や特殊な女は別として、私どもか……を大切に來ね洋服など見受けない、こゝではパーマネントと洋裝店はフランス人のためにあるも同樣に思へる、それにひき較べてフランス婦人は何と大膽なのだから、年老いた婦人も厚化粧にかくしたもの、何の慎みなくあらはなショートパンツ姿、紅に染めた爪は地の爪よりももつと長くのびてゐる、婦人が自轉車に乘るのは交通便利としても足もとも淡く男性に伍して往く姿、自轉車にシクロ（三輪車）の馭者を化粧させるは何か感遐を感じる、

安南婦人が彼女たちに同化し馴染まないのは小さな反抗なのかも知れない

……◇……

戰火がをさまつて昭南島に、ラングーンに、バタビヤに、そしてバンコックへ店も進出してゆく、私達の友達もどん〳〵進出してゆく、私はこゝへ來るとき最後に兩親の承諾を得るのに骨折つた、友達のほとんどが同じ經驗をもつてゐる、中には遂に承諾出來ず挫折した人が澤山ある、しかし私は南の國に來て内地で想像した總ての心配は解消し去つたことを告げたい、私達女性もまた南方新建設に受持たねばならぬ役割の幾つかがあることを感じる、私は二ケ年南方勤務を致しますと約束した、私は職場にもの出來る仕事と任務を果さねばならぬと強く考へさせられる

……◇……

私達女性は過去の誤りにも流しがり易だつた、それを防はうとして逆に放埒と解放に走る傾きもあつた、しかし大東亞圏の指導者として立つ日本人、その女性もまた既に高い教養をもつて南の國の女性の上に立つことが望ましいとしみ〳〵思ふ、私達は愉びの生活を求めがちです、四季の變化に乏しい南國での感情はともすれば單一になりがちです、これを癒すのには、矢張り私達は活花や茶湯を求めず、女性に與へられるさゝやかな娛樂、趣味の世界も――しかし、いまはまだ私達は十分我慢いたします、内地の婦人雜誌が早く届くこと、これがいまの一番の願望です◇私はもとく浴衣です、友達の二、三は感謝か日本着物を持つて來ました、そして寢る時に限つて取出して着ては内地の思ひ出をたのしんでゐます、しかし外へは決して着て出ません、熱帶のこゝ南國では無理をして日本着物を着ることはありません、實際こゝでは衞生的ではなく活動的でもありません、それに日本着物を着ることは特殊な職業の婦人と間違はれ誤解される懸念があるため注意されてをり、私達誰もが着ることを避けてゐます

……◇……

私は女性として日本婦人の特性を一人でも多く接する土地の婦人――フランス人、安南人――たちに知らせ、理解させることに努めます、誤らぬ理解のために自分を研磨する自重と誠心を持ち續けたいと存じます、これも女の國に捧げる誠意の一つです

子供と兵隊

【○○にて村岡特派員】これは皇軍勇士を歡送する愛嬌者の童心部隊――佛印西貢からプノムペンを經て泰國盤谷へ通ずる一本道マンダリン道路がメコン河に突きあたる地點サワイリヤンの河畔の町は渡船連絡をまつため西行あるひは東行の皇軍勇士たちの小休止の場所で安南人、カムボジヤ人それに廣東出身の華僑の集團したさゝやかな町である、灼きつける太陽の直射を名も知らぬ南洋樹の樹陰に避けると數多の子供たちが寄り集つて來て兵隊さんたちの前でまづ歌手の歌を聽かしたの ち揃つて

「日地に赤く日の丸染めて、あゝ美しや日本の旗は……」

この歌詞が終るか終らぬ中に續いて

「ポツポツポ、ハトポツポ……」

この歌が終ると

「モシ〳〵龜ヨ……」

の歌を唱ふ、音階も發音も明瞭で生徒音や發音も見事にこなしてゐる、これらの童心部隊は親たちとともにすつかり皇軍勇士になつてゐる、ベシツ一枚に陽灼けした赤銅の膚、また八ツか九ツかとも思はれるのが、頭髮だけは綺麗に伸ばしてなかには分けてゐるのがゐる、驚いたことには六、七歲位なのからがスパリ〳〵と煙草を喫つて鼻からさも美味しさうに白い煙を吹き出す、何ともいへぬ珍妙な歡を抱かせる、かうした子供が兵隊さんたちを取卷いて唱歌をもつて歡迎、兵隊さんが吸ひさしの煙草を捨てると、つと拾つて「有難う！」を連發する、愛嬌者のこの童心の歡迎に兵隊さんたちは拍手を贈つて褒めてやる、なごやかな小休止の一時である、そしてなかには新しく「お手々つないで……」と樂器に教へてゐる兵隊さんもゐる

その後南部佛印に進駐した皇軍勇士の誰かが傳授したであらう、日本の唱歌の一節は次々に教まり、そして後續部隊の將兵が唱和して教へてゆく、この兵站路を行き交ふ勇士たちの間ではすつかりこの部落の子供の唱歌は有名なものとなつてゐる、やがて大東亞建設子供たちは童心を捧げて高らかに「日本の歌」の大合唱とともに歡く歌詞をもつて東亞建設の大進軍を行ふであらう【寫眞=皇軍勇士に飛びよる住民の子ら=陸軍省檢閲濟】

コクヨの帳簿

大阪 東京 黒田國光堂

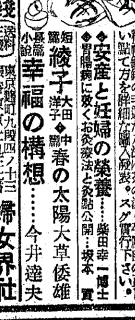
婦人公論 六月號 本日發賣

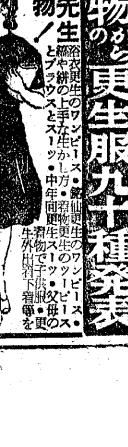
此他 重要創作 記事滿載 大好評

女性 提言 教養の擴大……高良富子
日本のおふくろを政治に參加させたい……宮城タマヨ
☆ことばの躾と性格の躾……長谷川如是閑
☆土と民族……樺俊雄
☆戰爭と貨幣……中山伊知郎
鍛へられる海軍精神……壺井榮
國際情勢展望……鶴見祐輔
無醫村を救ふ人々……下村千秋
（創作）短篇 蜘蛛……中里恒子
（作）長篇 巴里に死す……芹澤光治良
敵機小癪なり ●吉屋信子 ●室生犀星 ●三好達治
特輯 必勝食生活 ・東京だより……佐藤謙一郎
父娘の會話……齋藤瀏 齋藤史
○師と友に負ふもの（わが師わが友）……高田保馬
母の讀書……中野好夫
隨筆 背衣の女人……川田順
父……岡本一平
古都春想……兒島喜久雄
○榮養學と食物……櫻井芳人
晴れ渡る佛印……森三千代
新生活文化建設研究2 日本女性 文化の傳統と革新（座談會）齋藤晌 森本治吉 河上徹太郎 神崎清

待望の六月號！ 清新潑剌大畫輯

婦女界





第一特輯 着物から更生服九十種發表 杉野芳子先生 浴衣更生のワンピース・銘仙更生のワンピース……
初夏の贈物！ 物が一寸したエ夫でこんなに素晴しい洋服に更生！是非早速實行を
第二特輯 夏の婦人子供服卅種發表 働き向ワンピース・スモックのあるワンピース・中年向ドレス・縮緬更生訪問着・工場と農村の働き着・スーツ・洗濯のきく家庭着
實物大型紙九種付
◆洋裝着上手のコツ◆男女兼用ポロシャツ作方
◆知つておきたい洋裁部分縫の秘訣……杉野芳子
南方に活躍する女性座談會 主人を抑留されてゐる奥様方が南の風土を語る南進女性への案内記
◆印度の回想（高良富子）◆戰ふ衞生兵 平柳少佐
◆報告小說 マレーの虎の母と語る……志摩達夫
第三特輯 茶の湯上達秘訣 田中仙樵先生指導 精神鍛錬の手近な方法は茶の湯、平點前の正しい點て方を鮮細な圖入解說。スグ實行下さい。
◆安産と妊婦の榮養……柴田幸一博士 ◆胃腸病に效く灸療法と灸點公開……坂本貢
短篇 綾子 大田洋子 ◆中篇 春の太陽 大草倭雄
長篇小說 幸福の構想……今井達夫
特價七十錢（送料三錢） 東京麴町九段四ノ十三 振替東京二九三七番 婦女界社

岡本正一著 革新的水產體制の構想 A5判三四〇頁 上製 三・〇〇 〒三〇
大東亞水產業統制の具體的方式 沿岸及海洋漁業全東亞一體化 全水產資源の一元的統制配給 魚は漁組から商組へ統制配給の買取配給で魚市場の解消 漁業用資材生産及配給の一元化
聖戰既に第六年、今尚無統制極まる水產業界水產金融・配給の混亂に鑑み、如何に統制す可きかその具體的方法を說きて水產界の進路を示す
一見よ！その人事を 水產統制會長 井野碩哉 日本漁業會社長 高崎達之助 北方漁業社長 田村啓三 トロール社長 山路章 捕鯨會社長 眞藤慎太郎 昭和漁業社長 中部謙吉

最新刊
松川二郎著 大東亞地政治學 A5判函入 四五四頁 四・二〇 〒二〇
水野正次著 大東亞戰爭と思想戰略 B6判 二三〇頁 一・三〇 〒一五
長野朗著 パナマの弱點 B6判 二四七頁 一・五〇 〒一五
東京・赤坂・溜池 霞ケ關書房 振替東京一〇七四三六

巨いなる足跡殘し 報道戰の華と散る
嗚呼、近藤本社特派員

大東亞戰爭勃發するや本社では皇軍の赫々たる戰果を銃後半島に報道するため村岡豐、近藤一馬兩特派員を南方に派遣したが去る三月五日京城を出發〇〇基地に向つた近藤特派員は連日皇軍部隊と協力し灼熱の南方戰線で血の滲むが如き活躍を續けるうち不幸急性盲腸炎に冒され一旦臺北に歸還療養中十七日病勢惡化し同日午前八時廿分臺北病院で同業白石讀賣新聞社臺北支局長に看護られつゝ本社報道戰士として初の戰病死を遂げた【寫眞】＝在りし日の近藤一馬氏

闘病すること七日 "米の近藤"今は亡し
報道報國に不壞の忠靈塔

"この大勢ゐられる新聞記者の中から、私一人が特に選ばれて南方戰線に出發するといふことを私はまことに濟まなく思ひます、それは、從軍といふことを新聞記者の最高の名譽だと私が思ふからであります、同時にこの壽へは皆様も一様に抱いてゐられる切望であると思ふと私は誠に皆様に濟まないと思ふのであります。この上は、私のペンがどれだけの力を持つてゐるか、この濟まないと思ふ氣持を仕事の上でどれだけ償ひ出來るか、私は私の良心に追はれて遮二無二、ペンを動かすのみです"

近藤君の出發を祝ふ壯行會の席上で、彼の美しい人間性と報道報國の決意をさういふ眞摯な言葉で語つた君は、三月五日、桃の蕾のやうやくふくらむ早春の陽の中を一路南へと旅立つていつた、思へばそれが君の最後の旅だつたのである

やがて南方に到着した近藤君からは頼もしい第一報がもたらされた

"バタアン半島東海岸にあるジャングル地帶の進軍は全く筆舌に絶する死闘であつたが、われわれは遂にコレヒドールに突入するまでは頑張らうぜ"とはげまし合つてまつしぐらに進撃した、吾々の頭にはコレヒドールに突入せねば死んでも死にきれぬ、コレヒドールに突入すれば死んでも本望だといふ氣持がいつぱいだつた、難いふなくわれわれはいつかうした氣持でいつぱいだつたのである"

と君は書いてゐる、凄愴な戰線にも堪へられた世界最強のわが軍隊に交つて、君もまた常に生命の危險を冒す男だつた、五月十二日日比谷公會堂で報道戰士の慰靈祭があつたとき、谷萩陸軍報道部長は報道戰士を讃へて

"記者諸君は豐富なる學識と卓拔なる才能により、若しその人が要求するならばより高い地位と、よりよき榮譽とを得るであらうにも拘らず常々考へさせられるのであります"

"記者諸君はその學識と才能に對する誇りも求めず、また眼中地位もなく、榮達なく一死の事に全生命を託し、不屈の精神を以て活動してをられるのを見て深く胸を打たれてゐるのであります"

と讃へたが、君はまことにこの讃辭に値する眞の報道人だつたのだ、波濤萬里を南に驅馳して君は、筆を以て敵の心臓を射ちぬいた

"【〇〇基地にて】敵の撃ち出す機關銃砲火、手榴彈の猛烈な彈幕の中にひそつてみると"

いゝ月だつたが、生れてこの方月がこんなに憎く淋しかつたことはない、月が出ると、吾々の身體は敵に丸見えなのだ、敵はますます撃つて來る、おい月をかくせ！月をかくす法はないか！ばたくと倒れてゆく兵隊を見て私は腹の底から、ほんとに誰かにさう叫びたかつた"

また更に

"吾々は木陰をジリくと匍匐して漸くのこと第一線に辿りついた、最早拂曉である、やがて周圍は火氣の明るさも目立たぬ程度に明けて來た、われくは兵隊たちをお詫びするやうな目で見てから、草にうつぶして飯をかにひそかに煙草を喫つた、煙草は喉を次第に流れ腹の底に沁みゆくやうに思へた、私は煙草の味をほんとに知つたのはこの時だつたといつていゝだらう"

とも君はその後の報道に見事にも書いてゐる、平素からの君の重厚は戰線の偉大な經驗に裏付けられて至妙の輝きを持ち、われくは今後にあるものにも前線にあると同じの勇氣と驚きと熱情とを抱かしめてくれた、君はそのとき不幸にして病魔に冒され、遂に心もだしがたくも涙を呑んで後方に送られ、遂に臺北において再起の心に燃えて闘病すること七日、一度は後方に回ひかけた魂も東の間、病魔は深く君を捕へて十七日午前八時廿分、君は報道戰士の華として遂に"とこしへに不歸の首途へと旅立つたのである、まことに報道戰士の鑑といふべく、顧みれば君が"米の近藤"として朝鮮言論界にその手腕と人望とを謳へられてより十有餘年、君の足跡は草創期の朝鮮新聞界にも巨いなる實績を殘したのだつた、あゝ、惜しむべきか讃へるべきか、勇士にも劣らぬ報道報國の至誠に燃えて君の忠魂は戰線史の上に永遠の輝きを放ち、わが朝鮮新聞の不壞の忠靈塔となるであらう

半島新聞界の損失
倉茂軍報道部長談

半島報道陣に偉大な貢獻を致した記者としての功績は實に偉大なものがある、僕は必ず近藤君が出發の際に約束した仕事を輝かしくやり貫くことを確く信じてゐたが事半ばにして斃れたとは同君としても無念であつたらうと同情を禁じ得ない次第である

敬服すべき勤勉家
さぞかし殘念だつたらう—三橋本府警務局長談

御社の近藤特派員が大東亞戰爭の輝く報道戰士として南方に渉び不幸病を得て病死されたとは誠に痛惜に堪へない、近藤君は新聞記者として稀にみる溫厚篤實の士であり勤勉倦まざる實行家であつたことは常に耳にしてゐたところで同君の死は御社は勿論半島新聞界にとつての一大損失であると同時に今近藤君の死を聞いて驚いてゐるところです、思へば近藤君が出發の日僕のところへ元氣な顔をしてやつてきて

"この機會に南方の狀況や皇軍の涙ぐましい奮闘振りを半島の民衆に是非とも知らせるのだ"と燃えるやうな熱意を眉宇に浮かべて語つたその姿が思ひ出されてならない、同君とは僕は殊のほか親しくしてゐた關係上同君の日頃の奮闘振りには全く敬服してゐたその意味で近藤君が半島統治に殘したものとして敬服の外はない今や大東亞戰下にあつて報道陣の活躍は皇軍の力戰と相まつて堂々たる筆陣報國の赤誠を捧げ既に内地からは幾人もの尊い戰死者を出し、これらの尊い犠牲に對し感謝措く能はざるものがあるが今回御社の近藤特派員が戰病死せられるに及び朝鮮人としてこゝに厚く哀悼の意を表する次第である

嘘のやうだ
驚く近藤秘書官

それは本當ですか、實に惜しいことをした、大東亞戰爭起るや近藤君はわれくに向つて『南方の第一線に飛び出してウンと働きたい』とロぐせの樣にいつてゐた、その甲斐あつて〇〇方面へ行くことになり、その時發から歿した先般ベタアン半島で戰死された闘田部隊長の紹介狀を得て勇ましく出發した姿が目にちらつくよし、報道上の連絡に當つてゐた日頃は每日秘書官室に姿を現はし

もつとお役に立てたかつた
健氣に語る遺族

がその熱心さには頭が下つた、殊に半島報道に道言が深く、その勤勉の貢ぎされる所があつたしばしば感心してゐました

故近藤特派員の留守宅府内元町一ノ二九番地ではふで未亡人つ―(三一)とふさ母堂(六二)が遺憾に滿ちながらも夫は將れ報道戰士として散つた近藤氏の病死を次の如く健氣に語つた【寫眞】=母堂ふささん(右)とふで未亡人

今朝ほど社の方から容態が急變したといふ知らせが參りましても早駄目だと覺悟だけは決めてゐました、こちらを發つて南へ向つてからは別に便りとてありませんでしたが新聞で一馬の元氣な記事が度々載つてゐたのを見て一馬も大東亞戰爭に報道人として立派にお役に立つてゐるのだと頼母しく思つてゐましたのに

…それが中途で、しかも病で殪れるとは本人もさぞかし無念でしたでせう、一馬の亡きあとは女二人ですが氣を落さず互に勵まし合つて立派に生きて行く積りです

近藤特派員の略歷

なほ近藤氏は明治四十二年廣島の生れ、昭和六年より新聞界に入り京城日報社に入社し、その勤勉、明朗な性格は人望をあつめ、昭和十五年經濟部次長となつてからは社の中堅として活躍してゐた

しめやかに御通夜

【臺北特電】近藤氏の遺骸は讀賣白石臺北支局長、堀井記者によつて通夜が營まれ、十八日茶毘に附した上無言の凱旋をする

なほ京城元町一丁目一二九の自宅には母堂ふささん(六二)令閨ふでさん(三一)がゐる

全鮮佛徒の祈り
徵兵制に感激、皇軍への感謝
京城太古寺で大法會

徵兵制の實施を感謝し、佛教文化をとほして二千四百萬民衆にこの歴史的な感激への奉告と祈願を捧げ、併せて聖戰の勇猛と皇軍勇士の武運長久を祈る朝鮮佛教曹溪宗の"徵兵制實施祝賀祈願法會"は十七日午前八時を期し全鮮一千六百餘の寺々に佛門信徒を集めて一齊に行はれたがこの日京城府昭和町朝鮮佛教曹溪宗總本山太古寺でも府内五ケ寺、七布教所の僧侶七十名附近の信徒約二百名を集めて午前十時から大古寺本堂李鍾郁總務院長の法主のもとに莊嚴な法會が行はれた焚香は睦き本堂には靜かに香煙がたちのぼり、佛法僧に三歸依を捧げまして懺悔眞言を讀誦する大悲咒の聲は、六方世界に響きわたるかと聽きなされ、一讃歌心、佛の教へに歸依して己がところを實の日本人に高めんとする姿には佛の子ならではの眞摯なものがあつた最後に聖壽の萬歳と皇軍將兵の武運長久、戰殁勇士の冥福を祈る祝禱文奉讀を締まして午前十一時半式を終つた【寫眞＝徵兵制實施祝賀祈願法會】

ラバウル攻略記念塔
除幕式を擧行
【ニューブリテン島ラバウルにて十六日特發】難波 海軍報道班員】大東亞戰史上不滅の勳を銘んだニューブリテン島ラバウル攻略を記念する陸海軍協同攻略記念塔はこのほど竣工し去る大長の揮毫のもとに除幕式を擧行した同塔は高さ二メートル、長さ五メートルの同島産のラワン材をもつて作られ同市を俯瞰する沽父山麓を背にシンプソン灣を眼下に屹立し仰ぎ見る將兵の感慨を一入深めてゐる

牛島徵兵制 實施の快報に

嚴かな奉告祭
感激する在北支、蒙疆の同胞

【石門にて川邊特派員發】徵兵制實施の快報が北支蒙疆に傳はるや十萬半島同胞は今更の如く皇國に感泣、輝かしい名譽を擔せられた使命の重大さを痛感し皇國臣民としての責務完遂の決意を新たにかつた、殊に石門では一層の感激裡に奉告する同胞の感激とまた一入である、記者は十六日石門から電話をもつて京漢線沿線における感激の瞬間を聞いた

鳳團する北支軍錬の感激を總て半島に贈る、この日石門では午前七時卅分石門神社に光榮に勇み立つ若人一百名が參集、各代表參列の下に嚴かな奉告祭典に皇賓式を行つた、なほ協和會では嚴て計畫中の青年團結成を爲ぐ來る廿一日結成式を擧行現地軍指導の下に軍事教練を開始する

總督府へ感謝文打電
【石門にて川邊特派員發】こゝでも總督府へ感謝文打電、獻告類を送付、溢れる感激は國防獻金となつて現はれ青年の間には合される日本精神に基いて軍事教練會を計畫している

血書志願續出
【開封長州國】徵兵制實施の報に皇軍將兵がわが事のやうに喜んで半島青年を激勵、青年間には早くも血書志願者が續出し半島派遣を計畫してゐる

朝報と同時に宣誓式
【太原】北支で熱烈な感激の火ぶたを切り軍宣旨を發表させた太原協和會は朗報と同時に宣誓式を行ひ熱烈な演説會、夜は提燈行列に感激を爆發、太原市民の歡呼を浴びた

碧空に競ふ妙技
きのふ"模型機競技京城大會"

朝鮮國防航空團主催、本社後援航空機模型京城大會は十七日午前八時から漢江河原人道橋上流で擧行、參加機は國民學校初等科及び高等科兒童のA級中等學校以上各學生々徒、一般人のC、D、G、Hの各級ほか總數千六十七機の多數に上り、空に翔まする次代航空戰士の夢も逞しく各種翼機入亂れて熱戰の結果大會は好成績をもつて午後四時終了したが、各級入賞者の記録は次の通り【寫眞＝模型機大會】

◇總督賞 H級八分三〇秒、龍山中學小山正太郎
◇軍司令官賞 G級七分二二秒、京城中學林山良助
◇總督府朝鮮軍司令部賞 G級六分二〇秒、京畿道富野信彦
◇遞信局長賞 A級五〇秒、東大門國民學校石田賢夫
◇C級 四一分二秒、善隣商業氏原均平
◇D級 三〇分、一般村中久能

滅私奉公を誓ふ
徵兵制實施記念大講演會
きのふ府民館で開催

國民總力朝鮮聯盟、朝鮮軍事普及協會共催の徵兵制實施記念大講演會は十七日午後七時から府民館で盛大に催された、定刻既に聽衆は立錐の餘地なく場内を埋め盡した聽衆の大部分が中等學校以上の學生隊で占められてゐるのも徵兵制實施の感激と意義を如實に物語つてゐる

講演者の第一陣・第二陣　時代の要請として、白山青樹氏、第二陣が『半島同胞に對する徵兵制實施の意義』に就て八木信雄氏第三陣が『半島青年に望む』で伊東致昊氏、最後が『陸軍の本義と徵兵制實施』について磯矢五郎大佐がそれぞれ獨自の立場から徵兵制實施の感激を語り、劃期的半島青年の新出發に對し祝福、切々たる慈父の言葉をおくつて激勵、聽衆に多大の感銘を與へ九時過ぎ鳴り止まぬ萬雷の拍手裡に閉會した

維新史料編纂に一生を捧ぐ
藤井氏の語る金子伯

【東京電話】維新史料編纂總裁として金子伯を追慕する人に文部省維新史料編纂官藤井甚太郎氏がある、伯の晩年の事業だつたこの一大編纂事業に伯の片腕として半生を伯に捧げた藤井氏の感激は細々と盡きない

伯は私の同郷の大先輩でこの御縁故で私は編纂會の仕事をこの三十年來お手傳して來た、明治天皇の御聖旨を體してのこの大編纂事業に打込んだ伯の熱中ぶりにはいつも頭の下る思ひのしたものです、ある時は資料の原稿を夜分遲くまで校閲されたこともあつた、あの高齡にも拘らず頭腦明敏で一字一句も看過さない、一字の誤字も一々叮嚀に御注意されるといふ有樣で意味の不明瞭なところも再考を命ぜられることもあつた、また御自分の意見を書き加へられたこともあつた、私が最後に御伺ひしたのは去る四月廿八日で御病床にありながらも元氣に三四十分も話されたが實に理路整然たるものでありました、私は晩年の伯に接見したのでありますが御性格は眞面目で非常に几帳面な御方でした、これは生來のもので特に晩年に御修養をされたものではありませうか、アメリカ留學を終へて歸朝された明治初年當時民權論者として目されることを避ける爲の修練が後年のあの細心注意深い一分の隙もない伯の性格を陶冶したものと考へます

葬儀は廿日
青山齋場で執行

【東京電話】築地本願寺で執行される豫定であつた故金子堅太郎伯の葬儀は廿日午後一時から青山齋場において臨時帝國議員長東宮氏が葬儀委員長となり佛式により執行されることに變更された、なほ一般告別式は午後二時から三時まで行はれる

大相撲八日目

東方 12345678 / 西方 12345678

東方	西方
双葉	安藝ノ海
羽黑	照國
前田山	出羽湊
玉海	笠置山
名寄岩	鹽島
佐賀ノ花	肥州山
二瀬川	清美川
鯱ノ里	松浦潟
若瀨川	相模川
松浦潟	綾昇
鯨昇	櫻錦
神風	鹿島
櫻甲	備州山
九州錦	九州山
柏戸	八方山
小松山	若瀬川
青葉山	増位山
旭川	十三錦
磐石	神東山
双見山	大和錦
若藤	龍王山
小戸岩	雨國
鯱ノ里	武ノ里
大熊	侵岩
大森	藤ノ里
富山	綾若
得點 98	得點 104

休場續きて東軍に暗影

【東京電話】大相撲夏場所八日目の中日、日曜と重つて開場と同時に各溜は寸、字通り超滿員の入りである、東軍の精鋭神風、神東山のつり出しに敗れ神東軍の士氣大いに衰れとの邊の取口大いに萎縮した觀があり、七日目全勝して氣勢を擧げた二所ケ關勢、けふは神風をトップに玉ノ海、佐賀ノ花と全敗の悲運、また西軍中堅陣の活躍は物凄く全勝四一五、東一〇と大差五點を引離し累計六點のリードとなつた

連を許さず、つゝぱり寄合はせで砂被を盛しわぱつたが二瀬の出るとみせかけて退きすかさず有利な態勢となつて攻撃に出る巧妙な作戰も功して無敵にも討ち取られた

八日目勝負

勝	決まり手	負
綠國	（つきだし）	鯱ノ里
常陸海	（よりたふし）	因州山
相武山	（よりきり）	錦谷
山陽山	（そとかけ）	鶴川
三根山	（うつちやり）	鶴翔
雷門	（よりきり）	矢筈山
駒ノ里	（よりきり）	金湊
一渡	（よりきり）	照ノ海
豊葉山	（そとがけ）	雲仙嶽
汐ノ海	（よりきり）	東富士

中入後

勝	決まり手	負
駿河海	（すくひなげ）	高津山
綾若	（ひきおとし）	朝明山
廣瀨川	（つりだし）	侵岩
藤ノ里	（不戰勝）	大熊
大和錦	（はたきこみ）	富ノ山
磐石	（つりだし）	龍王山
櫻錦	（こてなげ）	双見山
九州山	（こてなげ）	鉀昇
相模川	（つきおとし）	九ケ錦
綾昇	（そとがけ）	若瀬
松ノ里	（よりきり）	柏戸
二瀬川	（よりきり）	豐島
名寄岩	（よりたふし）	清美川
出羽湊	（ひきおとし）	小松山
若潮	（こしなげ）	十三錦
増位山	（つきだし）	鯱ノ里
青葉山	（よりきり）	兩國
小戸岩	（きりかへし）	若瀨川
大ノ森	（きりかへし）	八方山
武ノ里	（よりきり）	櫻甲
神東山	（つりだし）	神風
備州山	（よりきり）	玉ノ海
松浦潟	（したてなげ）	笠置山
前田山	（よりたふし）	鹿島洋
照國	（したてなげ）	佐賀花
安藝海	（したてなげ）	鶴ケ嶺
双葉山	（よりきり）	肥州山

九日目取組（東京電話）

東	西
八幡野	和歌木山
鏡川	因州山
大潮	常陸海
雷門	相武山
金湊	高津山
廣瀬川	照ノ海
一渡	雲仙嶽
東富士	小島川

【中入後】

東	西
天津山	鯱ノ里
藤ノ里	綾若
大ノ森	双見山
兩國	十三錦
九州山	青葉山
櫻甲	備州山
増位山	柏戸
小戸岩	清水川
綾昇	松ノ里
松浦潟	名寄岩
佐賀花	鹿島洋
玉ノ海	二瀬川
肥州山	安藝ノ海
照國	双葉山

感激の餘り本社支社へ
白衣の勇士

【東京特電】十五日午後「徵兵制施行に關する記事の載つた京城日報を見せて下さい」と本社東京支社を訪れた白衣の勇士があつた、右は今牛込の陸軍々醫學校六戰病棟で名譽の戰傷の身を養つてゐる半島出身陸軍歩兵軍曹平山孝吉君（三）で、同君は昭和十三年志願兵として勇躍出征、徐州戰線で名譽の戰傷を負ひ内地に後送され昭和十五年七月以來入院中であつたが徵兵制實施の報を聞いてからは嬉しさで夜も眠れず半島にゐる同胞の喜びの樣子を一日でも早く知りたいと友人に手紙を出したが、その返事も待ちきれず『さうだ京城日報でみんなの喜びを讀まう』と病める身でありながら遙々支社を訪ねたのであつた、同君はいたいたしい白衣の姿ながらも滿面に溢れる喜びをたゝへて語る

こんな嬉しいことはありません、もう五年若かつたら私も立派な兵隊さんになれたのに殘念でたまりません、その代り退院して半島に歸つたら青年達に自分の體驗を通じて覺悟した日本の軍人精神をしつかり叩き込み立派な兵隊さんになるやう及ばずながら協力する積りです

中央修練場で土の訓練

【東京電話】農林省では村指導員まつ農民精神の把握からと昨年十二月から本年四月末までに新規採用した中等學校以上卒業職員六十七名全部に對し長野縣諏訪郡原村の農村厚生協會八ケ嶽中央修練場で來る十八日から六月六日迄の三週間にわたつて第一回土の訓練を行ふ、一行の編成は廿名單位六班に分ち竹前課長増田事務官を隊長としてまづ十六日午後一時農相官邸で井野農相の訓示を受け十八日午前八時卅分新宿驛發列車で出發午後四時卅分農場に到着して同農場長久保佐土美氏指導のもとに農耕作業その他訓練を受け石黑次官以下各局部課長が期間中それぞれ講演に赴くはずである

御差遣宮殿下奉迎歌
滿洲國で謹作

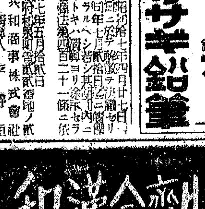
【新京十七日同盟】畏き邊りより御差遣の高松宮殿下御訪滿の日をお待ち申上げる滿洲國政府では今回四千三百萬國民歡迎のうちに殿下を奉迎し奉る海の宮殿を讃へ奉つて『奉迎高松宮殿下奉迎歌』を謹作十六日その歌詞曲に歌詞を發表した、奉迎歌は殿下御渡滿の御當地都に開く奉迎大會席上日滿兩國學生兒童によつて嚴かに奉唱される筈である

奉迎歌

一、東海に輝く聖邦の光に榮えるこの譽き日御姿仰ぐ畏さよ奉迎萬歳々々歳

二、上中育つた滿洲の國の慶び溢れる日御姿仰ぐ畏さよ奉迎萬歳々々歳

私のニキビ取つた話！



今まで服んだり塗つたり色々な事をしても取れない私のニキビ、アブラ顔、ニキビ跡の黑色、小穴、凸凹、面根、雀斑（ソバカス）をスッキリと取つたらどんなに良い氣持だらう。之れは私の消化腸強壯の勵機です。兎に角お困りの方は東京市神田區西神田二ノ一番地、國民皮膚研究所へハガキでお申込みあれば詳細の「家庭美顔法消炎實驗法」冊子を無代進呈します

カキヨイケズリヨイツヨイ
カササギ鉛筆
鈴木鉛筆工場朝鮮總代理店
不二商工社
釜山府南浜町一ノ六 電話二九四番

昭和七年八月改正 昭和十七年四月七日 依り商號登記 ...

金浦海苔
京城府本町二丁目 ...

ニガリ
大和商會 ...

りん病なら金治良淋丸を用ゐるに限る ...
大阪市住吉區加賀屋町 ...

肺病まくろく 心配は無用なり
私は永年難症の肺病も恐い程で凡ゆる療法も効なく死を待つて居りました時、カワウソの生肝藥（獺肝藥）を用ひましてから熱も下り食慾も進み不思議に癒りました 氣分もよくなり三月の連服にて全快しゝは今健康に感まれて喜んで居ります 肺病腸結に惱める方に私の全快談と「家庭療法の秘訣四十ヶ條」詳細にお知らせ致します
大阪市港區八幡屋大通一丁目

参百年 一子相傳 藥王圓
頒藥所 聽松閣
●七日分 金二圓五十錢 ●十五日分 金四圓五十錢 ●三十日分 金八圓
振替口座大阪一八七三八番

根治療法 説明書 無料進呈
ぜんそく 根切り藥

日本犬 軍用犬 他 犬の市 開催中
合資會社 日本畜犬
東京日本橋區室町本石町 電話三〇一〇

ゴム長靴と地下足袋特賣
特殊品修理濟ゴム長靴
大人用 一足 金四圓〇〇 小人用 一足 金二圓〇〇
特殊品修理濟地下足袋
一足 金九十九錢
御注文は送料加算の上前金にて御送金願ひ升
大阪府北河内郡四條畷村
大阪 共益社
振替口座大阪五八五三一番

巡査採用試驗施行（内地在籍者）
朝鮮内ニ於テ左記ノ通リ施行スルニ付志願者ハ當日午前八時迄ニ出頭アレ志願資格、手續等ハ最寄警察官署ニ照合ノコト
五月二十日 試驗地 京城
五月二十一日 平壤
五月二十二日 光州
五月二十四日 木浦
五月二十五日 全州
五月二十六日 麗水
五月二十九日 咸興
五月三十一日 大田
六月一日 釜山
六月二日 大邱
六月四日 慶州
印ハ巡査教習所無印ハ警察署ニ於テ施行
朝鮮總督府警察官講習所

石油下向ランプ
文化燈
カーバイト代用
名古屋市中區古澤町 合名會社 柴田商店

和漢合劑…… 富士胃腸藥
本劑は多量のヘーフエ植物ホルモンを含有せる理想的合劑であります。
胃酸過多 胃痛 食慾不振 消化不良 ...
製造發賣元 京城府黄金町大門通一丁目 富士屋藥房
全國有名藥店にあり

痔にアラスター 坐藥 軟膏
説明書無代進呈
痔疾患者の中には色々手を盡してもどうしてもサッパリと治らないので、これは持病だとか、不治の病だとあきらめてゐる方が多いやうですが、痔疾などは、たいしてやかましい病氣でなく簡單に治るものです。それにはアラスターの治療などは最もふさはしいもので、頑固な痔疾の方にも是非おすゝめしたい藥であります。
發賣元 花生堂藥品株式會社 東京・日本橋・橫山町一〇 振替東京三四七四番
全鮮藥店ニ有リ

有名化粧品石鹸卸問屋
有限會社 京城 山大商會
京城壽町二ノ四（昭和通）電話本局②七九三二

金鶴香油
匂ひこぼれる髮……誇らしい髮！
それは金鶴が創りなす髮！

元仁川府會副議長元京畿道會議員元仁川商工會議所會頭吉田秀次郎氏今般逝去致候に付昭和十七年五月十九日午後四時於仁川公立旭國民學校々庭に府民葬を行ふ
昭和十七年五月十七日
葬儀委員長 池田清義

父秀次郎儀豫而病氣療養中の處藥石無効五月十六日午後七時三十分永眠致候間謹んで生前の御厚誼を深謝し此段謹告仕候
追而葬儀は五月十九日午後四時仁川公立旭國民學校々庭に於て以府民葬執行せらるゝ事に決定仕候
尚時局柄御供花御供物の儀は堅く御辭退申上候
昭和十七年五月十七日
仁川府山手町
嗣子 吉田謙治郎
親戚 吉田令太郎
親戚 飯盛文司郎
中尾近義
南本茂
友人 池田清義
向井最一
松本清

當社取締役會長吉田秀次郎殿豫而病氣加療中の處藥石無効昨夜永眠被致候生前の御高庇を厚く御禮申上候
尚葬儀は五月十九日府民葬と決定相成候間此段謹告仕候
昭和十七年五月十七日
朝日釀造株式會社

當會社重役吉田秀次郎殿豫而病氣加療中の處五月十六日藥石無効御逝去被遊候に付生前の御厚誼を深謝しこの段謹告仕候
昭和十七年五月十七日
朝鮮機械製作所
朝鮮燐寸株式會社
朝鮮化工株式會社

徴兵實施記念 背嚢强歩大會

京春街道に繰展ぐ健脚譜 廿四日

徴兵制施行の感激をもつて中央基督教青年會で『徴兵制實施記念背嚢强歩大會』を京城府體育振興會の後援を得て主催、來る廿四日京春街道に徴兵制への邁進と必勝の精神を鍛へる、大會要項左の通り

大會綱領 本大會は徴兵制度實施を記念し高度國防力增强のため國民の體力錬磨と必勝の精神を錬成するを以て目的とす

大會規定【時日】五月廿四日(日)午前七時出發【行程】京春街道（中央基督青年會より金谷陵前迄往復）【集合場所】中央基督教青年會後庭【參加】十八歳以上の男子とす【集合時間】午前六時【携帶品】背嚢（ハイキング用）辨當、水筒、ハンカチ、チリ紙【背嚢重量】一貫目砂囊にして各自持參の上必ず檢査を受くるを要す【服裝】服裝、靴（その種類は隨意）▲【申込場所】中央基督教青年會體育部▲【申込期日】五月廿三日(土)迄▲【申込書様式】ハガキにて申込むこと（住所、氏名、生年月日、職業、捺印）【入賞】十等までとす

改組後はすべて嚴格 武徳祭出場の古澤教士談

綜合武徳祭から大日本武徳會として改組發展した大日本武徳會綜合武徳祭は、はじめての武徳祭に朝鮮代表選手、百道選士三百餘名を引率して出場した京城教士古澤鋭兵衛氏はこのほど歸城、警察官講習所で武徳祭の模樣を次のやうに語つた【寫眞＝古澤氏】

◇……改組第一回の武徳祭で從來より總ての點が嚴重となつた、結成された大日本武徳會は決戰下國民體力錬成のため既存の武道團體を麾下に收め厚生、文部、陸軍、海軍、内務五省共管のもとに新發足し强力な武道團體として柔、劍、弓道のほか銃劍道、射撃道の二武道か新設されて五武道となつた

◇……直接主管を厚生省錬武課に於き從來の京都武徳殿は出張所となつた

◇……今度の武徳祭は四段以上の有段者で支部長の推薦（柔劍道は三段）が必要となり、日數も五日間と限定され、型の出演も五本以内と總てが命令的で嚴格となり規律的制が出來てきた

◇……柔道では大邱の大木六段と勝本六段、咸南の森五段と申菱五段の試合が最も光つてゐた、從來は成績優秀者は錬士、教士に合格したものだが今年からは部門別に審査規定を作り第一、二、三次と試驗をして初めて錬士、教士の資格を得ることになつたので從來の一割五分位となら

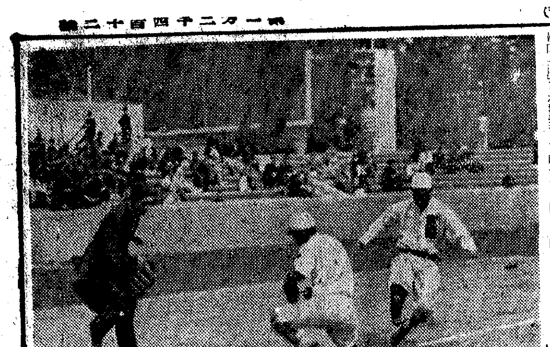
◇……結局今後の武道は指導的立場にある者はどこまでも嚴格に武道精神に則りそして一般的には廣く淺く普及されるであらう

様式も漸次日本風へ 廿三・四日全鮮角力大會

草相撲や遊戯で生活してゐる朝鮮相撲の職業力士は現在全鮮に約卅名餘りゐるが、昨年七月結成式を行つた朝鮮力士協會では徴兵制の施行に感激して來る廿三、四の兩日京城運動場に『徴兵義務完遂全鮮角力大會』を開き、時局下體位の錬磨を通して日本精神の昂揚を圖ることとなつた、なほ協會では從來の朝鮮式相撲の様式をも漸次日本式に改善するためこの度の大會には全裸、土俵など一部日本式をとり入れることゝなつた

濟寧館の武道大會終了

【東京電話】宮内省主催の昭和十七年度武道大會第二日最終日は午前八時から宮城内濟寧館で劍道試合を擧行この日賀陽宮恒憲王殿下の台臨の榮に浴し熱戰を展開午後五時二日間にわたる大會を終了した



京電先勝 對殖銀第一回戰

京城實業野球リーグ

京城實業野球リーグ殖銀對京電第一回戰は十七日午後一時十分から球審木田、壘審塚越、龜井、藤井四氏審判の下に京城球場で擧行、七對六で京電先勝【寫眞＝六回裏京電河野の遊ゴロで木原本壘突入】

殖銀 023010000 6
京電 21000200× 7×

◇殖銀有津の左翼前安打で好調のスタートを切つた京電は木原の適時安打によつて二點を先取したが殖銀は谷口の連投は漸く難色をおび前途に波瀾を想はしめ三回半ばから木原と交代したが、制球の惡はないのに乘じて五回三と逆に殖銀がリードしそのまま押切るかと想はれたが不運にも九回二死のあと有津に喫き出され打棄りを喰つたが敗因はむしろ六回裏の二失であつた

▲二壘打小笠原、有津▲併殺京電（2）殖銀（1）▲寄撰谷浩▲試合時間二時間七分

【殖銀】打安振四失 長田（右）島田（中）鈴木（二）池田（左）小中（捕）高井（三）原（遊）原（投）川木田 計 8 3 10 2

【京電】打安振四失 有金（右）津田（左）木原（中）山本（三）河野（遊）谷口（一）中村（捕）松（投） 計 8 1 8 6

府廳軍勝つ 對遞信第一回戰

府廳對遞信の第一回戰は午後三時五十三分から球審十井、壘審塚越、有津、中川四氏審判の下に擧行、八對一で府廳先勝

府廳 100400003 8
遞信 000010000 1

▲四回六本の集中安打を浴びて四高野の動揺に乘じられ遞信は崩れた

【府廳】打安振四失 計 10 8 7 4

【遞信】打安振四失 計 6 1 3 1

▲併殺府廳（1）▲ボーク高野▲試合時間一時間四十九分

明大辛勝す 帝明二回戰

【東京電話】東京大學野球春季リーグ戰明大對東大、慶大對立大、各二回戰は十七日神宮球場で擧行明大對東大戰は東大先攻で開始結局四A三で明大辛勝した

東大 300000000 3
明大 00004000A 4

【バッテリー】東大 倉橋、岡本—長松 明大 島、藤本、櫻井

慶立二回戰中止

【東京電話】慶、立二回戰は球場の狀態惡化したので、午後四時半試合を中止延期することに決定した、追つて日程は發表される

京城府體育振興會 廿一日結成式擧行

朝鮮體育振興會の一環として新設準備中の京城府體育振興會は漸く陣營がまとまり機構が整備したので、いよく來る廿一日午後五時から京城府民館中講堂で結成式を擧行、百萬府民が戰時下に國へ盡す體力錬成の輝かしい發足をとげる、なほこれが發會式に先立つて京城體振の前驅たる京城府體育會の解散式を十七日行つた

今日の運動

◇庭球 實業リーグ第四日、殖銀—商銀（東拓コート）府廳—本府（遞信コート）四時四〇分開始

◇排球 實業リーグ第一日、遞信—商銀、本府—鐵道（一部）府銀—漢銀、府廳—京電（二部）法院—殖銀、朝運—信託（三部）五時半開始、武橋町道場

◇籠球 朝鮮都市對抗第三日（正午）京城運動場

愛の赤道【96】

竹田敏彦作 都竹伸一繪

闇と光（五）

『大槻君なら、よく存じてゐますとも』

『こゝにゐるものは、大抵同僚で』

隊員達が、口々に答へた。

『ちや、同じ學校でいらつしやいますか』

大尉はいかにも懐しさうに云つて、

『それは、ちつとも知りませんでした』

『殊に、こゝの瑞木君とは、兄弟も及ばぬ親友でありました』

原田が附け加へた。

『へえ、さうでしたか』

『いや、そればかりでなく、只今は東京へ歸つて留守ですが、大槻君は、ずつとこの家の二階に同居してゐたのです』

『こちらのですか』

『さうです……』

原田は、かういつて、佐智子の方を見ると、

『まだ荷物も、そのまゝでせう』

『はい……』

『ちや、大槻は、こゝへ歸つてくるんですか』

大尉も驚いていつた。

『机も、本箱も、お座蒲團まで、まだその時の儘になつてゐますわ』

佐智子は、今まで、激しい論爭の話柄となつて、襲撃寒咳(?)の渦中に巻かれてゐたその大槻が、思ひもかけない、この將校の親友と聞くと、餘りの懐しさに、謹えずからいつた。

『それぢや、一度ぐ間でもお禮參りして、その部屋に敬意を表したいですね……これは全く、夢のやうな奇縁ですね』

しみぐといつて、さも懐しげに家中を見廻した。それを見て原田も、

『全くでございます』

感激に瞳を輝かしたが、

『しかし、私は瑞木君の靈の引き合せだと思ひます』

かう言つて、

『大尉殿は、最近、大槻君に、お會ひになりましたか』

と、訊ねてみた。大尉は、

『會ひましたよ。出發の二日前にも、お別れに宅まで行きました。彼も歸省すると、すぐ僕を訪ねて來ましてね……學校時代の同期生で、皆さんも御承知の通り、實に痛快この上ない快男子です。今度もこちらにゐれば恐らくは、當家の御主人などと一緒に、ヤンキーの十人も叩き殺して戰死してゐたことでせう。今度の噂を聞けば、自分だけ歸宅したことを、彼はどんなに口惜しがることでせう』

『さうでせうとも』

原田がこの意外な同憂者を得て山岸の顔をみた時だ。

『しかし、大ていかうなるのがわかりながら、大槻さんは何故あちらへ歸つたのでせう』

山岸が疑問を挾んだ。大尉はそれをきくと、

『お父さんの病氣と、兄さんの結婚ですよ。一日も早くダバオへ歸りたいといつて、いろくやつてゐましたが、船の都合がつかなくて焦つてゐましたよ』

『さうれみたまへ』

原田がにつこり山岸に囁いた。

討議は、この不意の参拜者で、一も二もなく決定した。

『いや、それはかりぢやありません。今度の敵前上陸にも、實は、かねて聞かされてゐた大槻の調査が、どんなに有力な参考になつたか知れないのです』

『まあ……』

佐智子は、夢中の嬉しさで、原田を見た。

『では、失禮いたします……大槻君とそんなに御縁の深いお家なら駐屯中には、またお詣りに來ますから』

大尉は、佐智子を眺め、一同に會釋して、立上つたが、その時原田が、何と思つたか、

『そこまで、お見送りさせていただきませう』

かういつて、大尉の後から座を立つた。

ラジオ 十八日

晝 〇・三〇 1パイプオルガン『東洋の夜』ほか 松澤智慧子、2合唱『野薔薇』ほか 日本放送合唱團▲一・〇〇朗讀『南進日本の先驅者達』（四）岡野放送員▲一・三〇『生活の協同化』（一）梅山一郎▲二・〇〇（大）學校新聞 平井泰太郎▲二・三〇（城）國語（講話）『洛下遊記』卒九放送員▲四・〇〇『航空機について』富永謙吾▲五・五五（城）シンブン（鮮語）

夜 六・〇〇シンブン、『ベンダム艦の將軍と兵』馬淵恒▲六・二〇大相撲實況九日目（録音）▲六・二五（城）滿洲事情▲七・二〇（城）『自給肥料の問題』三須英雄▲八・〇〇（城）徴兵制施行發表感激青年講演會京城府民館より中繼1『血潮は湧き立つ』大朝實臣、2『大君の邊にこそ死なめ』上田龍男▲八・三〇（城）初步國語講座▲九・〇〇『米英衰亡の道程』安達謙藏▲一〇・〇〇1西貫より（録音）2『復興の昭南島』寶田通元

Beriberol ベリベロール ビタミンB₁B₂複合體 氣と脚氣に榮養に 東京・京橋 ラヂウム製藥株式會社

間諜未だ死せず
この様な戰慄が日本國内にあつた！そして更にあなたの周圍にも起らうとしてゐる
恐るべきは米英間諜の暗躍だ！スパイは何處にゐる！スパイは君の側にゐるのだ
『暖流』『西住』の鬼才 吉村公三郎監督 脚本 津路嘉郎 木下惠介 撮影 生方敏夫 松竹大船撮影所製作 朝鮮映畫配給社提供
佐分利信 上原謙 木暮實千代 水戸光子 齋藤達雄 河村黎吉 原保美 日守新一 三桝萬豐 伊東光一 如月輝夫
京城 寶塚劇場・京城劇場 平壤 大衆劇場・大衆劇場 上映中
京城 大陸劇場 喜樂館 釜山 寶來館 清津 帝國館 咸興 本町劇場 元山 大勝館 仁川 仁川キネマ 興南 興南館 新義州 新鮮座 大田 警心館 木浦 平和館 白系全鮮順次公開

ネオアルサミノール 三SANKYO共 驅黴劑の白眉 所謂六〇六號の共同發見者秦博士の檢定を經て完成せるものにして品質效力共に第一位の定評を有する代表的驅黴劑。毎製品北里研究所の嚴密なる檢定を受けその保證を有す。【包裝】（〇・一五）（〇・三）（〇・四五）（〇・六）（〇・七五）（〇・九）各一管、一〇管、五〇管入 東京市日本橋區室町 三共株式會社 京城府大和町 朝鮮三共株式會社

あしの衛生藥 らへんで むれる べとつく たゞれる…… 汗の惱みは……あぶら足や水虫 そして 靴下が臭くなること…… それには毎日藥用香粉を足にふりかけて足の衛生をお忘れなく…… 五十錢 一圓

法人登記公告

（京城地方法院、平壤地方法院ほか各法院の會社設立・變更・解散等の登記公告多數）

決算公告・貸借對照表

第廿二期貸借對照表（昭和十七年三月三十一日現在） 江南商事株式會社

第五回決算公告（昭和十七年參月參拾壹日現在）貸借對照表 朝鮮魚糧株式會社

第參期決算公告（昭和拾七年參月參拾壹日）貸借對照表 朝鮮工業株式會社

第七期貸借對照表（昭和十七年三月三十一日現在） 東亞製菓株式會社

[illegible]

糖尿病 血糖、尿糖の下降作用は勿論、自覺諸症狀の消失速かなり。本劑は又天然ビタミンCとして結核其他の疾患にも廣く應用せらる。疲勞感、頭重、精力減退の恢復著明 ビタミンC内服劑 ヂアベトン 日本藥品洋行 田邊元三郎商店

腎臟疾患 危險なる尿毒症、高血壓、蛋白尿に對し醫界に於て本劑の併用は最も合理的なりとの定評を受く スルフアミン劑常用者の屢々訴へる 甘味なる服用容易の液劑 アルワヂン 蛋白尿に推賞せらる 詳細なる説明書郵呈す 日本藥品洋行 田邊元三郎商店

神經痛 ロイマチス劑 アトカルミン錠 1円10 3円40 6円60 其他

試藥進呈 虚弱兒の榮養に ビオゲン錠は强力なる：ビタミンB複合體、ビタミンD、カルシウム、燐を主劑とし、特に牛肝エキスの實質成分並に各種酵素を配合せる榮養源 故に身體組織を旺盛にし、新陳代謝を良好ならしめ、增血・榮養强壯劑として、虚弱體質の榮養補給に極めて有効適切なり 一五〇錠 一円五〇 五〇〇錠 三円七〇 東京・蒲田 ライオン製藥株式會社 ビオゲン錠 L.74

南方圏と仁丹 正に三十年前ジャバ島スマランに支店を置き將た印度に活躍の仁丹は今皇軍の大戰果に感激深大 捧げて南方厚生の一路へ 胃腸强化 疲勞恢復 惡疫豫防 大東亞の厚生藥 仁丹

古本高價買入 金剛堂書店 京城明治町

性病 皮膚泌尿器科 醫學博士高峰潔

專門大學制服 京日案内 料金表

代診 女子 募集 少年 求職 電話 賣店 醫院 求資 乳兒 尋犬 特別案内 女子事務員採用 齋藤酒造會社 職員募集 朝鮮雲母開發 配管工急募 朝鮮工業株式會社 店員 丸善京城支店

第一劇場 漫談報國班 大公演
中央劇場 春のいざなひ 青春の氣流
喜樂館 日本ニュース 文化映畫 天兵童子
若草映畫劇場 石川啄木
朝日座 松平八千代 橘左近 壽々木女米若
東洋劇場 劇團青春座 夜霧
桃花劇場 青春部隊 金魚
新富座 ニュース 空陸軍作戰 支那の夜
大陸劇場 赤ちやん讀本 家族 佛蘭西座
浪花館 照る日くもる日 私はお孃様
京劇 間諜未だ死せず
城寶 電話 間諜未だ死せず
和信映畫館 動物の合戰 少年漂流記
明治座 南から歸つた人
東寶若草劇 南から歸つた人 尊王祇園會
城南劇場 母の歌